

を適宜再整理、構成することにより、こと藍に関する限りは幕藩制下における市場構造を全国的視野において把握することが可能となるであろう。

中世文書については、量的には限られたものである。しかし、永正から天正期の長坂口紺灰間屋に関する文書群や天正から延宝に至る越前結城領紺屋職奈良屋文書、また阿波藍に関する史料としては年代的に最も古いものとされる天正年間の呉服家文書が収録されており、断片的ではあるがこれも貴重な史料ばかりである。

以上稚拙な紹介は、極めて多様かつ豊富な内容をもつ本書のごく一部分にすぎない。解説の中で編纂者も述べておられるように、本書の利用者がそれぞれの研究上の立場からこの膨大な史料群を批判・検討され、十二分に活用されることを切望するばかりである。

尚、最後に一言要望を述べさせて戴くならば、本書の目次が内容に比して余りにも簡略にすぎることが残念でならない。勿論、下巻末に付されている簡潔な史料解題は有

益なものである。しかし、なにぶん膨大かつ網羅的な史料集のことであり、また目次に示される一件の中には相当点数の史料が含まれ、長年月に亘るものも決して少なくないのであるから、各点についての年月日ならびに標題・所蔵者名・出典等が一覧できるときならば、多様な研究テーマに即しての関連史料の検索と諸事実の再構成とにさらに便なるものがあつたと思われるのである。さらに願わくば、史料典拠について、とりわけ個人所蔵者についてはその所在地をも記しておいて頂きたかつたものである。

勝手な言辭を連ねたが、それはいずれにせよ、本書の、藍研究に逸することのできない史料集としての価値をいささかでも損うものではない。末尾ながら、本史料集刊行事業の継続がより一層豊かに結実することを心より期待するものである。

(A5判) 上巻六九三頁 中巻五二三頁 下巻六七三頁 一九七四年一月 三木産業株式会社発行 頒価九〇、〇〇〇円)
(袖田善雄・京都大学大学院生)

会 告

五月二十二日、楽友会館において史学研究会理事会・評議員会を開催し、昭和五十年年度予算案のほか、左記の役員改選を決定いたしました。

常務理事(会計担当) 樋口隆康

(編集担当) 朝尾直弘

(庶務担当) 松尾尊允(留任)

なお、新しく理事に本田実信氏を選任旧常務理事の水津一朝氏は理事に、笠沙雅章氏は評議員に、それぞれ復帰されました。

本会ほか五十四学会は、去る五月一日付で、郵便料の値上げ案に対する左記のようなすえおきの要望書を、関係各機関に提出いたしました。

郵便料すえおきの要望書

昨年末、郵便料の値上げ案が公表され、それによれば第三種五〇グラムまで現行一二円のところを三五円に、第四種一〇〇グラムまで現行一五円のところを二〇円にするとのことでした。

もし、この通りの値上げになれば、各学

会とも雑誌発送費・通信費等多大なアップとなり、郵便料値上げの波及効果を考えあわせると、学会の経費増は想像以上のものとなります。

日本では、学術研究・教育活動は学会を中心としておこなわれ、学会活動は単に会誌頒布にとどまらず、研究や情報交流など幅広い分野に及んでいます。しかも、このような学会はほとんど会員から徴収する会費で運営されているのが現状です。ここ数年、うちつづく物価高騰のまに、各学会は連年のように会費を値上げせざるをえず、会員に多大な負担をかけてきました。

この上、今回の値上げが実施されるならば、学会活動の大幅の縮小、または停止のやむなきに至ることすら考えられます。

これまで、教育・研究の前進の上で果してきた学会、学会誌の大きな役割にかんがみて、第四種ならびに第三種中の学術刊行物の郵便料のすえおきを強く要望いたします。

一九七五年五月一日

秋田近代史研究会『秋田近代史研究』 秋田大学史学会『秋大史学』 岩手史学会

『岩手史学研究』 大阪歴史学会『ヒストリア』 沖縄文化協会『沖縄文化』 関西大学史学会『史源』 近畿民俗学会『近畿民俗』 近代史文庫『愛媛近代史研究』 熊本史学会『熊本史学』 芸備地方史研究会『芸備地方史研究』 甲南大学文学部神戸史学会『歴史と神戸』 古代学協会『古代文化』 古代学研究会『古代学研究』 埼玉県郷土文化会『埼玉史談』 史学研究会『史林』 史学会『史学雑誌』 史正会『史正』 社会経済史学会『社会経済史学』 社会と伝承の会『社会と伝承』 社会文化史学会『社会文化史学』 人文地理学会『人文地理』 総合歴史教育研究会『総合歴史教育研究会』 地方史研究協議会『地方史研究』 朝鮮学会『朝鮮学報』 朝鮮史研究会『朝鮮史研究』 東京都立大学法学会『都立大学法学会雑誌』 同志社大学人文学会『人文学』 東方学会『東方学』 東北史学会『歴史』 東北大学文学会『文化』 東洋学術協会『東洋学報』 東洋史研究会『東洋史研究』 土佐史談会『土佐史談』 土地制度史学会『土地制度史学』 日本オリエント学会『オリエン

ト』 日本考古学会『考古学雑誌』 日本史研究会『日本史研究』 日本人類学会『人類学雑誌』 日本中国学会『日本中国学会報』 日本歴史学会『日本歴史』 広島史学研究会『史学研究』 福島県史学会『福島史学研究』 福島大学史学会『福大史学』 部落問題研究所『部落』 法政大学史学会『法政史学』 法政大学法学志林協会『法学史林』 三重郷土会『三重の文化』 山口県地方史学会『山口県地方史研究』 山梨郷土研究会『甲斐路』 立正大学史学会『立正史学』 歴史科学協議会『歴史評論』 歴史学研究会『歴史学研究』 歴史教育者協議会『歴史地理教育』 和歌山大学経済学会『経済理論』

史 林 (第五八巻第四号)

一九七五年六月二五日印刷
一九七五年七月一日発行 定価六〇〇円

発行人 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

理事長 今 津 晃

振替京都市五五五番

印刷所 中村印刷株式会社

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇